

操作した時に鳴る音の音量調整

トランシーバーを操作をした時に鳴る「ビッ」というピーブ音の音量を調節できます。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ SET] ボタンを押して“BEEP”の表示にします。
- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押してピーブ音の音量を選びます。

1/2/3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。
1/1/2/L3 : 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。また音量調節ツマミに連動してピーブの音量も変わります。
OFF : ピープ音は鳴らなくなります。


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。

Bluetooth® ヘッドセットを使う（SRS220△/SRS220S△のみ）

SRS220△/SRS220S△は、オプションの Bluetooth® ヘッドセット“SSM-BT10”を使用したワイヤレス通信が可能です。ヘッドセットの送信ボタンによる送信に加えて、話をすると自動的に送信状態になる“音声自動送信（VOX）機能”にも対応していますので、ケーブルが無い完全なハンズフリー運用ができます。

- 

- 無線 LAN や電子レンジなどからの影響で Bluetooth® 通信に雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、無線 LAN や電子レンジの使用を中止したり、これらの機器との距離を離したり、Bluetooth® ヘッドセットと無線機の距離をできるだけ近づけてください。
 - Bluetooth® ヘッドセットと無線機を、体を挟むようにそれぞれ反対側に装着した場合、Bluetooth® 通信に雑音が入る場合があります。Bluetooth® ヘッドセットと無線機は体の同じ側に装着することをお勧めいたします。

■ Bluetooth® ヘッドセットを使う

この設定は一度だけです。次回からはトランシーバーとヘッドセットの電源を ON にするだけで、自動で接続されます。

SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを3秒以上押してペアリング（接続）モードにします。

マルチファンクションボタンを3秒以上押す
赤と青の点滅になります

① 一度電源を切る

電源/音量ツマミを“カチッ”というまで左にまわします。

② [CUE] ボタンを押しながら電源を入れる

“SRCH”の表示になり“*”が点滅します。

③ 接続するヘッドセットを選ぶ

[ ▼] または [ SET] ボタンで選択します。



④ PTT（通話）ボタンを押す



トランシーバーとヘッドセットが接続されると表示します。

設定は完了です。

送信する時はヘッドセットのマルチファンクションボタンを押してください。もう一度押すと受信に戻ります。

VOX 機能を使用することによって、マルチファンクションボタンを押さなくても自動で送信することができます。

- 

- VOX 機能使用中は、マルチファンクションボタンを押すことで一時的に VOX 機能を ON/OFF することができます。OFF にした VOX 機能は、マルチファンクションボタンを押すか電源を入れ直すと再び ON になります。
 - VOX 機能が一時的に OFF の時は“—”が表示されます。



画面の表示を消す

周りの人に使用しているチャンネルがわからないように、画面の表示を“—”にすることができます。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ SET] ボタンを押して“DISP”の表示にします。
- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“2”を選びます。

ON : 常に画面は表示された状態になります。
2 : トランシーバーの操作が終わってから約2秒後に画面の表示が“—”になります。トランシーバーの操作を行うと再び画面が表示されます。


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。



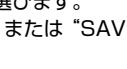
■ Bluetooth® ヘッドセットを使うのをやめる

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“BLTH”の表示にします。

“BLTH”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。


- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“OFF”を選びます。再び Bluetooth® ヘッドセットを使いたい時は“ON”または“SAVE”を選びます。

ON : Bluetooth® 機能が動作し Bluetooth® ヘッドセットを使用できます。
SAVE : Bluetooth® 機能が動作し、更に Bluetooth® ヘッドセットのバッテリー消費を少なくすることができます。VOX 機能を使用する場合、話を始めてから送信が始まるまで遅延が生じますので、話の始めが途切れる場合があります。
OFF : Bluetooth® 機能は動作しません。


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節する

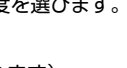
本機に接続した Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節できます。相手から「声が小さい」と言われた時は“感度を高く”、「声が大きい」「声が割れて聞こえる」などと言われた時は“感度を低く”します。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“BTMG”の表示にします。

“BTMG”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。

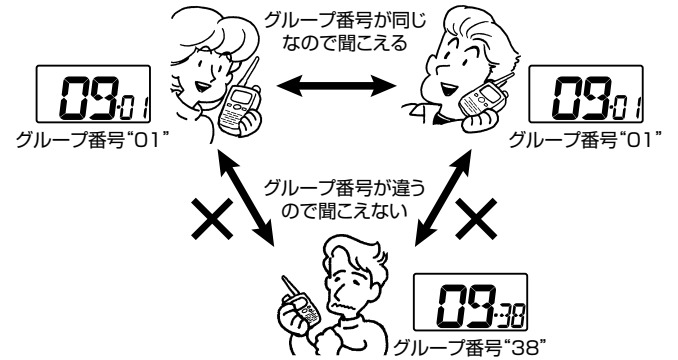

- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押してマイクの感度を選びます。

=MG / 1（感度低い）～6（感度高い）
（“=MG”はトランシーバーのマイクと同じ感度になります）


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。

グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が聞こえてわずらわしい」そんな時は、あらかじめ同じグループ番号を決めた“グループモード”にすると仲間同士の音声だけが聞こえます。



■ グループコードを設定する

仲間同士で同じグループコードにします。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- “GRP”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。

“GRP”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。


- [CUE] ボタンを押して、続けて [ SET] ボタンを押します。
- “GRCD”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。

“GRCD”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。


- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して、仲間同士で決めたグループコード（GP01～GP50）にあわせます。
- PTT（通話）スイッチを押して終了です。グループコードが設定され、画面に表示されます。

 — グループコード

“基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

グループコードが不足した場合などは、108種類の DCS コード（D017～D754）を使用できます。上記の手順7で“D017～D754”を選んでください。

 — DCSコード

■ グループモードをやめる

- 上記と同じ操作を行い、手順4で“OFF”の表示にします。
- PTT（通話）スイッチを押します。
ノーマルモードに戻ります。

音声で自動的に送信する（VOX 機能）

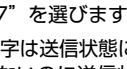
“音声自動送信（VOX）機能”を使用すると、話をすると自動的に送信状態になり、話をやめると自動的に受信状態に戻ることができます。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“VOX”の表示にします。

“VOX”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。


- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“1”～“7”を選びます。

1～7 : VOX 機能が動作します。“1”～“7”の数字は送信状態になる感度で、周囲の騒音が大きく話をしていないのに送信状態になる時は感度を下げて（設定の数値を小さく）ください。
OFF : VOX 機能は動作しません。


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。

使われていないチャンネルを自動で探す（オートチャンネルセレクト機能）

PTT（通話）スイッチを押すと、使われていないチャンネルを自動で探して、そのチャンネルで通話を行います。

- 

- 相手のトランシーバも、オートチャンネルセレクト機能を ON にしてください。
 - 相手と同じグループコード（または DCS コード）に設定してください。
- 

- 個別呼び出し、中継用チャンネル、マルチチャンネル待受機能時は動作しません。
 - オートチャンネルセレクト機能を“ON”にすると、スキャン機能、コールバック機能、ARTS 機能、エマージェンシー機能は“OFF”になります。

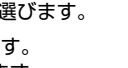
■ オートチャンネルセレクト機能を使えるようにする

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“ATCH”の表示にします。

“ATCH”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。


- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“ON”を選びます。

ON : オートチャンネルセレクト機能を ON にします。
OFF : オートチャンネルセレクト機能を OFF にします。


- PTT（通話）スイッチを押して終了です。画面のチャンネル表示が“AU”になります。

- 

PTT（通話）スイッチを押すと同時に、使用されていないチャンネルを自動で探しますので、PTT（通話）スイッチを押した後は、一呼吸おいてから話を始めてください。

■ オートチャンネルセレクト機能をやめる

- 上記と同じ操作を行い、手順5で“OFF”の表示にします。
- PTT（通話）スイッチを押します。
オートチャンネルセレクト機能が OFF になります。

サブチャンネルセレクト機能

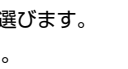
選択したチャンネルが使用中の場合、あらかじめ仲間同士で決めたもう1つのチャンネル（サブチャンネル）に自動的に切り替わり通話できます。PTT（通話）スイッチを押した時、信号がない場合は通常チャンネルで通話を行います。通常チャンネルに信号があった場合は警告音が鳴りますが、そのまま PTT（通話）スイッチを押し続けると約3秒後にサブチャンネルに移行して送信します。相手もサブチャンネルに自動で移行しますので通話を行うことができます。

- 電源を切ります。
- [ SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“SBCH”の表示にします。

“SBCH”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。


- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して“ON”を選びます。

ON : サブチャンネルセレクト機能を ON にします。
OFF : サブチャンネルセレクト機能を OFF にします。


- [CUE] ボタンを押します。
- [ SET] ボタンを押して“S-CH”の表示にします。
- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して、サブチャンネルにしたいチャンネルを選択します。
- [CUE] ボタンを押します。
- [ SET] ボタンを押して“S-GP”の表示にします。
- [CUE] ボタンを押します。
- [ ▼] または [ SET] ボタンを押して、仲間同士で決めたグループコード（GP01～GP50）にあわせます。
- PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ サブチャンネルセレクト機能をやめる

- 上記と同じ操作を行い、手順5で“OFF”の表示にします。
- PTT（通話）スイッチを押します。
サブチャンネルセレクト機能が OFF になります。